

佐倉市八街市酒々井町消防組合地球温暖化対策推進委員会結果

1 日 時 令和 6 年 6 月 3 日(月) 9:55~10:25

2 場 所 消防本部 4 階講堂

3 出席者

No.	委員会職氏名等	職名	氏名
1	委員	委員長	次長 前橋 幸雄
2		参事兼総務課長 柏崎 哲	
3		企画課長 高嶋 昌治	
4		予防課長 青野 勝美	
5		査察調査課長 木村 茂	
6		参事兼警防課長 戸村 孝伸	
7		救急課長 白鳥 良男	
8		指揮指令課長 川口 友己	
9		佐倉消防署長 和田 光功	
10		志津消防署長 齋藤 真一	
11		八街消防署長 加藤 晋	
12		酒々井消防署長 矢島 茂樹	
13	オブザーバー	主幹兼副署長兼角来出張所長 安藤 純一	
14		主幹兼神門出張所長 青山 浩士	
15		主幹兼臼井出張所長 荒川 幸児	
16		主幹兼志津南出張所長 金高 功男	
17		主幹兼八街南部出張所長 大内 敏夫	
18	事務局	主幹兼総務課長補佐 高中 真一	
19		副主幹兼管財係長 敦賀 和隆	
20		総務課主査 寺田 雄大	
21		総務課副主査 杉浦 直樹	

4 委員会資料 別添 1, 2, 3, 4, 5

5 議題

(1).佐倉市八街市酒々井町消防組合地球温暖化対策実行計画（令和 6 年度見直し版）について

計画見直し年度（令和 6 年度）を迎えたことに伴い、目標年度（令和 12 年度）における削減目標の設定を行い、地球温暖化対策実行計画（令和 6 年度見直し版）を策定した。

また、温室効果ガス削減のための具体的な取組内容の追加、組織機構改革に伴う担当課の変更を行った旨を報告。

(2).令和5年度地球温暖化対策実行計画の結果及び検証について

令和5年度の当組合のCO₂総排出量は、約1042t-CO₂となっており、基準年度の排出量（平成25年度）約1087t-CO₂と比較すると約4.16%の削減となり、前年度の排出量約1097t-CO₂と比べても約5.05%の削減となった。

項目別でみると、項目別では、電気・都市ガス・液化石油ガス・灯油は、すべて基準年度及び前年度を下回った。

温室効果ガス削減目標に対して、消防は業務特性上、災害優先となり、出動件数も年々増加傾向にあるため、特にガソリン・軽油等の自動車燃料等の削減が難しく、いかに庁舎内における「電気・都市ガス・液化石油ガス・灯油」の使用量を削減できるかが重要であるという事を報告。

6 審議結果 議題及び公表資料をホームページにて公表することが承認された。

7 質疑及びその他

・質疑

（矢島署長）

事務局から説明のあった本年度の報告ではガソリン・軽油等の自動車燃料以外の項目は、昨年度より削減できているとの報告がありましたが、基準年度（平成25年度）から毎年削減できているのか状況を教えて下さい。

（事務局）

基準年度より削減傾向にあります。今年度の総排出量は近年の中で最も低い数字を示しております。今後とも総排出量の約75%を占めている電気・ガス等の使用量が削減に努めてください。

・その他

（委員長）

脱炭素化社会を目指すには、組織対応はもちろんの事個人の自覚も大切である。各所属において、引き続き排出量削減を進めて下さい。

洗濯機・乾燥機の頻回使用が見受けられます。例規を遵守し、必要に応じた使用について所属長から促すようお願いします。

またガソリン、軽油等自動車燃料の削減は容易ではないが、今後導入する自動車を電気自動車等へ変更を検討する必要性があるのではないか。